



安曇の祖神 穂高見命が
降臨された霊山 奥穂高岳 嶺宮改築

安曇郡美

発行所
穂高神社社務所
創刊 昭和52年2月
〒399-8303
長野県安曇野市穂高6079
電話 0263-82-2003
FAX 0263-82-8770

改築前嶺宮



奥穂高岳山頂3、190m
穂高神社嶺宮改築竣工記念並びに「信州山の日」制定記念登拝のご案内

穂高神社嶺宮は日本で3番目に高い北アルプス奥穂高岳頂上3、190mに祀られて、日本アルプスの守護神、登山安全、山の安全の守りの神として信仰されています。大正の頃より木造の祠が鎮座していましたが、山頂の強い風、雪、雷などの自然災害により破壊されその都度造営されてきました。現在は山頂よりわずか離れた場所に祀られています。昨年より嶺宮の改築を計画しましたところ、週沢ヒュッテ、穂高岳山荘、山の関係者の絶大なご理解をいただき、本来の奥穂高岳山頂に建立することとなり、本年7月初旬に完成いたすこととなりました。

また、本年より「信州山の日」が7月第4日曜日に制定されました。県内

各地では様々な催しが予定されていますが、当神社でも嶺宮竣工を記念して、下記の内容にて登拝を催します。但し、少々過酷な登山となりますので体力に自信のある方のみの募集をさせていただきます。

記

- 一、期日 7月27日(日)～29日(火)
2泊3日
- 雨天の場合 28日(月)～30日(水)
- 一、参加費 1名 25、000円
*バス代、宿泊、昼食代含む
*出発日当日の朝食は含みません
*当日受付にて納金願います

- 一、宿泊 週沢ヒュッテ(1日目)
☎090-90002-2534
穂高岳山荘 (2日目)
☎090-7869-0045

- 一、持ち物 水筒、雨具、着替え、軍手、ティッシュ、その他必要な物
- 一、申込先 穂高神社社務所
☎0263-82-2003
FAX 0263-82-8770

- 一、募集人員 30名
- 一、締め切り日 7月10日(木)

※定員になりしだい締め切りとさせていただきます。
※詳細はホームページをご覧ください。

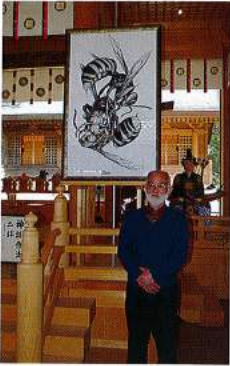
健康長寿道祖神



平成25年12月27日に除幕入魂祭を行いました。
それ以来多くの参拝者の方が道祖神に触れたり、同じ格好で写真を撮られたりされています。

水墨画奉納

ステンレス道祖神の制作者、中嶋大道様より水墨画『参蜂(さんぼう)』の奉納があり、4月1日に月旦祭に併せ奉納式を行いました。



節分祭 齋行

立春前日の2月3日、午後4時よ



り節分祭が斎行され、神楽殿より福豆・福銭が撒かれ、福を授かるうとする多くの参拝者が訪れ賑やかに行われました。

奉射祭



3月17日、特殊神事奉射祭(市無形民俗文化財)が斎行されました。

参拝者が見守る中、宮司以下神職が五穀豊穰を祈り13メートル先の的に12本の「鷹羽の矢」を射った。矢的は魔除けや家内安全の御利益もあり、参拝者は我先に手を伸ばしていました。奉祝の県下弓道大会も併せ執り行われました。

勧学祭



3月30日、今春小学校入学児童の学業成就と健やかなる成長、又通い路の安全・安心を願う勧学祭(入学祝)を勧学祭奉賛会と当社が共催して斎行されました。

特別交通安全祈願祭齋行

当社は交通安全祈願をご家庭、一般の企業にご案内してより本年は60周年にあたり、春の交通安全週間に併せ、4月7日安曇野市、自動車に関わる方をお招きし、特別交通安全祈願祭を斎行致しました。また、当社より交通関係の整備等にご使用頂きたく寄付金を安曇野市へ送りました。



七夕さまの祈りとともに
音色 **風鈴祈禱**
風鈴のご奉納を承ります

風鈴の音色には悪魔退散、厄難消除の霊力があると信じられています。風鈴を御奉納いただき、風受けの短冊に願い事を記し、鈴の音にのせて祈りを届ける御祈願を斎行致します。

● 奉納内容

・ご家庭で使用の風鈴を神社へお寄せ下さい。
・新たに風鈴をご購入の上、御奉納希望の場合も承ります。
(神社にて新しい風鈴をご用意致します。初穂料金1,500円)

・風鈴に付ける短冊は神社で用意致しますので住所・氏名・願い事をご記入願います。
短冊のみの祈願も承ります。短冊は七夕御祈願として7月7日まで笹に付けて神楽殿脇へ飾り、以降は風鈴へ付けます。

(初穂料金 500円)
● 奉納者の願い事は朝拝時(毎朝のおつとめ)の際に祈願申し上げます。

● 展示期間
7月1日より8月31日まで

● 祈願祭の募集期間
8月下旬まで(期間中随時申し受けます)
※奉納頂きました風鈴は神楽殿へ吊し、期間中飾ります。

◆ 連絡先 穂高神社社務所
☎ 0263-82-2003

わさび御料圃祭

5月2日に靖國神社の御料圃である宇留賀弘様のわさび田にて、穂高地区遺族会、穂高霊社奉賛会合同の主催による「わさび御料圃祭」が靖國神社神職2名と穂高神社神職の奉仕により斎行されました。本年は靖國神社宮司「徳川康久（第15代將軍徳川慶喜のひ孫）」様にご参列を賜り、前日の1日には上高地の奥宮で参拝された後、穂高神社本宮で正式参拝をされました。



写真中央：靖國神社宮司 徳川康久氏
左：長野縣護国神社宮司 奥谷一文氏

当日のわさび御料圃祭は好天に恵まれ、色鮮やかな新緑が映える中賑々しく盛大に斎行致しました。この祭典は靖國神社にお鎮まりになる御英霊に、郷土名産のわさびをお召し上がり願いたいとの一念で、深いご理解と熱いご支援を賜り実現となっています。
靖國神社でもこのような祭典は稀なことで、今後も現在の日本の平安と発展の礎となられた御英霊の為に継続させていかなければならない事業であると聞いております。
毎年、わさびは靖國神社の春秋例大祭に御奉納しております。

第9回 穂高神社 写真コンテスト入賞作品

(敬称略)



一般の部

大賞 「幸呼ぶ矢」 内山 俊

一般の部		(敬称略)	
選考	氏名	作品名	
大賞	内山 俊	幸呼ぶ矢	
本宮賞	保崎 健文	静寂な時	
奥宮賞	会田 仁	奥宮御船神事	
入選	栃尾 明伸	神の光	
入選	大青 社木正孝	クライマックス	
入選	深沢 有基	お休み所	
入選	岩野 末基	「円満」	
佳作	岩谷 健男	神竹灯	
佳作	中野 博司	福を播く	
佳作	尾崎 傑	鳥居に包まれて	
佳作	岩井 一真	ふれあい	
佳作	平川 博夫	だるまさんありがとう	
佳作	佐川 隆博	夜空に灯る神竹灯	
佳作	猪股 寛	明神池のお船祭り	
佳作	細野 修市	神様の仕者	
小・中学生の部			
選考	氏名	作品名	
大賞	本間 かつみ	奉射祭にて 扇の美	
優秀賞	木村 悦士	パワーゲット	
努力賞	本間 哲	奉射祭(弓道ガンバッテ)	
入選	諸橋 慧	ひとやすみ	
入選	木村 凌	大きくなりますように	
入選	遠藤 恵太	巫女さんの話し合い	



本宮賞「静寂な時」保崎 健文



奥宮賞「奥宮御船神事」会田 仁

第10回穂高神社 写真コンテスト開催

安曇の祖神とする穂高神社本宮、上高地奥宮、奥穂高岳山頂に鎮座する嶺宮にかかわる風景・祭典など四季折々の穂高神社を映し出す作品を募集します。
応募期間
平成26年7月1日～
平成27年3月31日

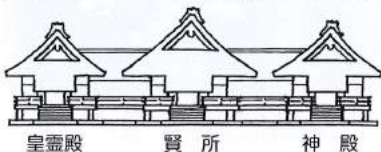
応募規定等詳細は穂高神社HPまたは社務所までご連絡下さい。

畏き辺りにわさびの献上と 神札の奉納

北アルプスの伏流水で育つ良質のわさびを皇居に献上が始まったのは、昭和23年からであり今も変わらず春分の日、秋分の日（皇霊祭・神殿祭）、天皇陛下誕生日（天長節祭）の前日から前々日に瑞々しいわさびを献上する。

当日東京駅丸の内口よりほぼ正面先に見える坂下門の皇宮警察坂下門派出所で献上者の確認を受けた後、頑丈なゲートが開かれハイヤーで参内。ゲートから200メートル程で重厚な3階建の宮内庁に到着。2階にある掌典職室

に入り、一部屋隔てた掌典長室に招かれる。手塚英臣掌典長（木曾平沢出身）に献上わさびをお渡しした後親しく懇談させて頂く。温厚で誠実な人柄に宮中三殿にお仕えするお姿を思い浮かべる。その後宮中三殿（賢所）への参拝が許され掌典補に案内を頂き乾通りを進む。太田道灌濠にある皇宮吹上詰所を左に曲がると道灌濠を隔てて紅葉山、皇后様が「小石丸」を育てられている養蚕所がある。右の塀の中は太い樹木に覆われた吹上御苑、その奥に吹上御所、皇居の奥とあって漂う静寂。宮中三殿の裏側の通用門内に到着。五年かけ耐震強化された宮中三殿へのお詣りで身が引き締まる。白い玉砂利を踏みしめ表門に進む。表門30メートル程先に荘厳な御本殿が並ぶ。正面の大きな御本殿は天照大御神をお祀りする「賢所」、向かって左が神武天皇を始め歴代の天皇と皇族をお祀りする「皇霊殿」、向かって右が皇室の神々と八百万大神をお祀りする「神殿」にそれぞれ深く一札をもってお詣りし説明を



受ける。その後天皇陛下がマンゲツモチ、ニホンマサリの苗をお手植えされる「水田」、徳川家光公が御愛用された見事な盆栽も置かれた大道庭園を拝観した後皇居を後にし安堵が広がる。正月には「皇室弥栄」、「聖寿萬歳」を祈願した神札を奉納の為皇居に参賀する。掌典長にお納めした後豊明殿にて記帳、その後宮中三殿にお詣りさせて頂く。何れの時も天皇陛下のありがたいお言葉が侍従から後に伝えられる。皇居にわさび献上、神札の奉納、又宮中三殿にその都度お詣りが適えられる事は稀な事と聞いており穂高神社にとって大変名誉な事で有難い事であります。天皇陛下が「国家の為、国民の為」に無私でお祈りなされるのが「宮中三殿」の祭祀であります。日本の歴史・伝統・文化・日本の精神・国民に寄り添われる御慈愛の源は宮中祭祀にあります。皇室の弥栄を願ってやみません。（宮）



天皇陛下御製
務め終へ歩み速めて帰るみち月の光は白く照らせり
皇后陛下御歌
灯火を振れば彼方の明かり共に揺れ旅行くひと日夜に入りゆく



第二回信濃雅楽会

定期演奏会

とき 平成26年6月21日(土)

午後6時開演

ところ 安曇野市穂高

交流学習センターみらい

(多目的交流ホール)

入場料 500円

■ 演目

君が代(吉越調)

陪臚(平調)

武徳楽(吉越調)

蘭陵王

納曾利

長慶子



● 第15回

子供相撲大会参加者募集

元気に相撲をしよう!!

9月6日(土)の子供祭に奉納して、例年通り子供相撲大会が南神苑の土俵にて開催されます。穂高地区内の男女小学生なら誰でも参加できます。友達を誘って、大勢のご参加をお待ちしています。

崇敬会新入会員

(平成25年11月1日〜平成26年4月30日)

個人会員

- 村石宗一 飯吉和夫
- 青木利夫 青木富子
- 藤池功久 滝澤文雄
- 中嶋大道 平野恵里子

崇敬会入会のご案内

安曇野が誇りとする20年に一度御本殿一殿を造り替える式年大遷宮祭と北アルプスのふもとの安曇野が心と技を捧げる御船祭は、長い歴史の中で培われた安曇野の文化と信仰を象徴しています。

海の恵みと山(陸)の幸を併せ持った御神徳は広大無辺であります。

皆様方には穂高の大神様とより一層深い御神縁を結ばれ生き生きと栄え日々御護り頂けますよう「穂高神社崇敬会」のご案内を申し上げます、一人でも多くの皆様方にご入会頂けますようお願い申し上げます。

会員種別入会金(年会費)

- 一、個人会員 3,000円
- 一、法人会員 5,000円
- 一、名誉会員 10,000円

◎特別会員

穂高神社氏子(安曇野市穂高 等々力区・等々力町区・穂高町区・穂高区在住)に限る

第30回 安曇野道祖神まつりについて

〜倉平地区御柱立て行事を再現して〜

穂高神社御船会館では昭和58年から安曇野道祖神祭りを開催し、今年で第30回の節目の年を迎えます。

安曇野市穂高柏原倉平地区では、道祖神祭りとして古くからの行事である「御柱立て」が現在も行われています。

今回は倉平御柱保存会の方々の協力を仰ぎ、御柱の準備も含め御柱立て行事を再現し、道祖神信仰について改めて理解を深めて頂きたい存じます。

皆様大勢のご参加をお待ちしております。

【期 日】

平成26年8月30日(土)、31日(日)

◇1日目(8月30日)

【内 容】

- ・JR穂高駅前道祖神「御柱立て」祭り
- ・安曇野市穂高柏原倉平地区で行われている「御柱立て」祭りの再現

【日 程】

- 正午 御柱立て 飾り付け準備
- 午後1時30分 祭典
- 午後2時30分 講演
- 倉平御柱保存会会長、講師先生2名
- 5時30分 終了予定

◇2日目(8月31日)

【内 容】

- ・安曇野市内御柱立て行事の行われている道祖神を含め、講師先生の説明を交えながら巡拝見学

【日 程】

- 午前8時 穂高神社集合
- 午前8時15分 穂高神社参拝、記念撮影
- 午前8時30分 安曇野市内道祖神巡拝
- 安曇野市穂高、豊科地区を中心に15体程度
- 12時頃 昼食
- 午後3時頃 解散予定

【その他】 会費制にて実施します

【申し込み・問い合わせ先】

穂高神社 御船会館 ☎82-7310



各祭典行事

6月30日	大 祓	午後5時
7月14日	八坂社宵祭	午後8時
15日	本祭	午前10時
25日	鹿島社宵祭	午後8時
26日	本祭	午前10時
8月2日	祖霊祭	午後5時
15日	穂高霊社御霊祭	午後8時
9月6日	子供祭宵祭	午後8時
7日	本祭	午後3時
26日	例祭 宵祭	午後8時
27日	本祭	午後3時
10月7日	山岳遭難者慰霊祭	午後5時
8日	奥宮例祭	午前11時
11月19日	列格記念祭	午前11時

豆知識

お賽銭について

お賽銭の意味や起源には諸説があります。現在では神社にお参りすると、お賽銭箱に金銭でお供えしますが、このように金銭を供えることが一般的になったのは、その古くは「おひねり」ともともと、御神前には海や山の幸が供えられました。その中でも特に米を白紙で巻いて包み「おひねり」としてお供えしました。

私たちは祖先の時代から豊かな自然に育まれ暮らし、秋になると稲の穂りに感謝をして刈り入れた米を神様にお供えしました。こうした信仰にもつき、米を「おひねり」としてお供えするようになったのです。しかし、貨幣の普及とともに米の代わりに、金銭も供えるようになりました。

そもそも米は、天照大御神がお授けになられた貴重なものとされ、人々はその大御恵を受け、豊かな生活を送ることができるよう祈ったのです。現在でも米をお供えする方もいますが、金銭をお供えすることも、この感謝の気持ちには変わりありません。

お賽銭箱にお金を投げ入れるところをよく見かけますが、お供え物をなげてお供えすることには、土地の神様に対するお供えや、祓いの意味があるともいわれています。しかし自らの真心の表現としてお供えすることなので、箱に投げ入れる際には丁寧な動作を心掛けたいものです。

七五三は穂高神社へ

お子様のこれまでの成長に感謝し、これからの無事、幸福を願って七五三詣にぜひお参り下さい。

- ・年齢は、満年齢・数え年どちらでもかまいません。
- ・10月より七五三祈禱は毎日行っております。

◎午前9時～午後4時まで

◆初穂料 1人 5,000円・7,000円

◆千歳飴、お守、記念品をお授けします



■お問い合わせ先：穂高神社社務所 ☎82-2003

穂高神社パック

- ・衣装・着付け
- ・ヘアメイク
- ・撮影（プリント料金別途）

詳細は 夢つなぎへ

☎0263-2718303

会場 参集殿



成長を祝う儀式

編集後記

新年度を迎え早くも2ヶ月が経ちました。桜が咲いたばかりと思えば青々とした新緑を迎え、田植で忙しい時期も過ぎました。夏も間近となつてまいりました。エアコンで暑さを和らげるのではなく、神社に参拝いただき、森の木陰や風鈴の音で心地よく暑さを和らげていただければと思います。